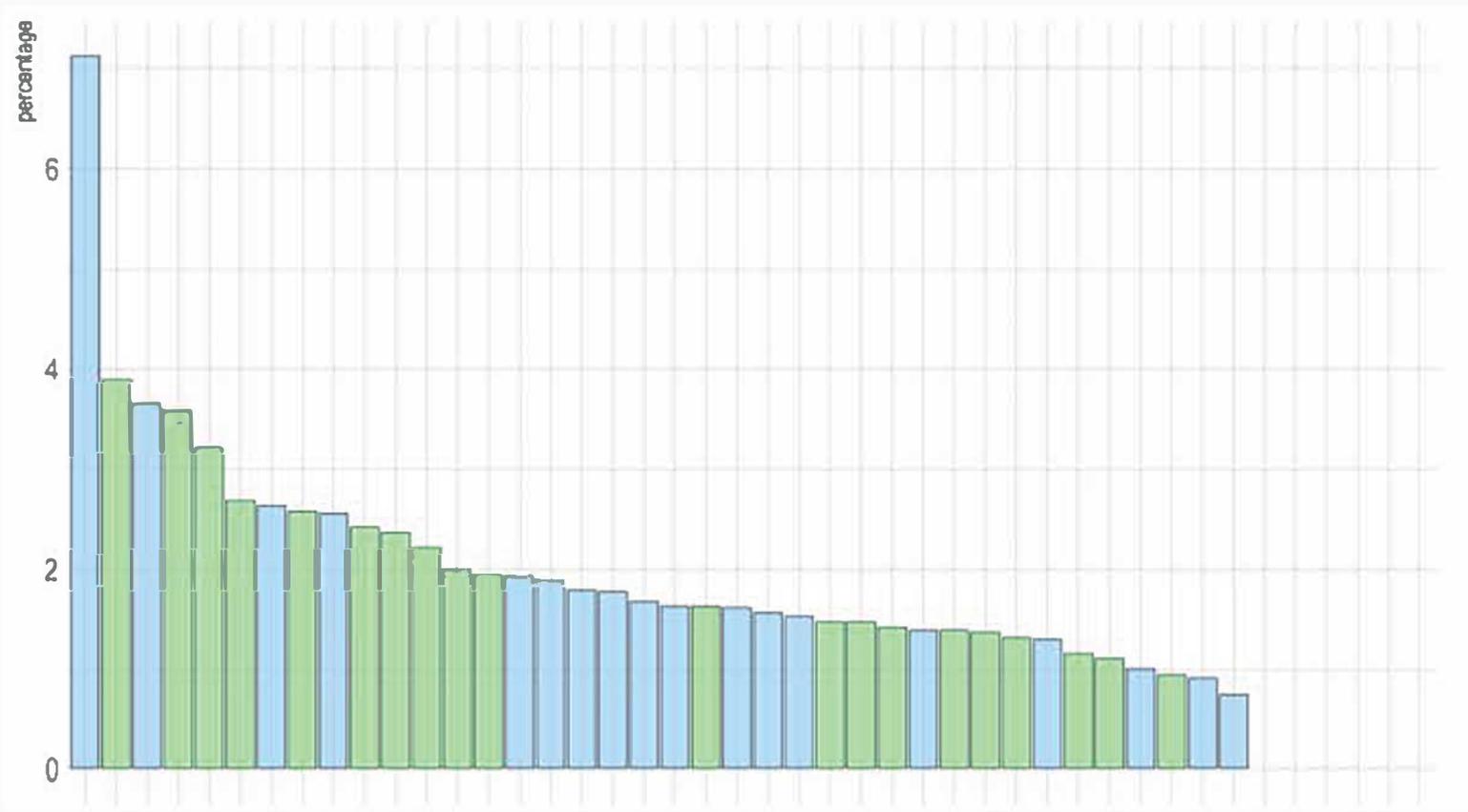


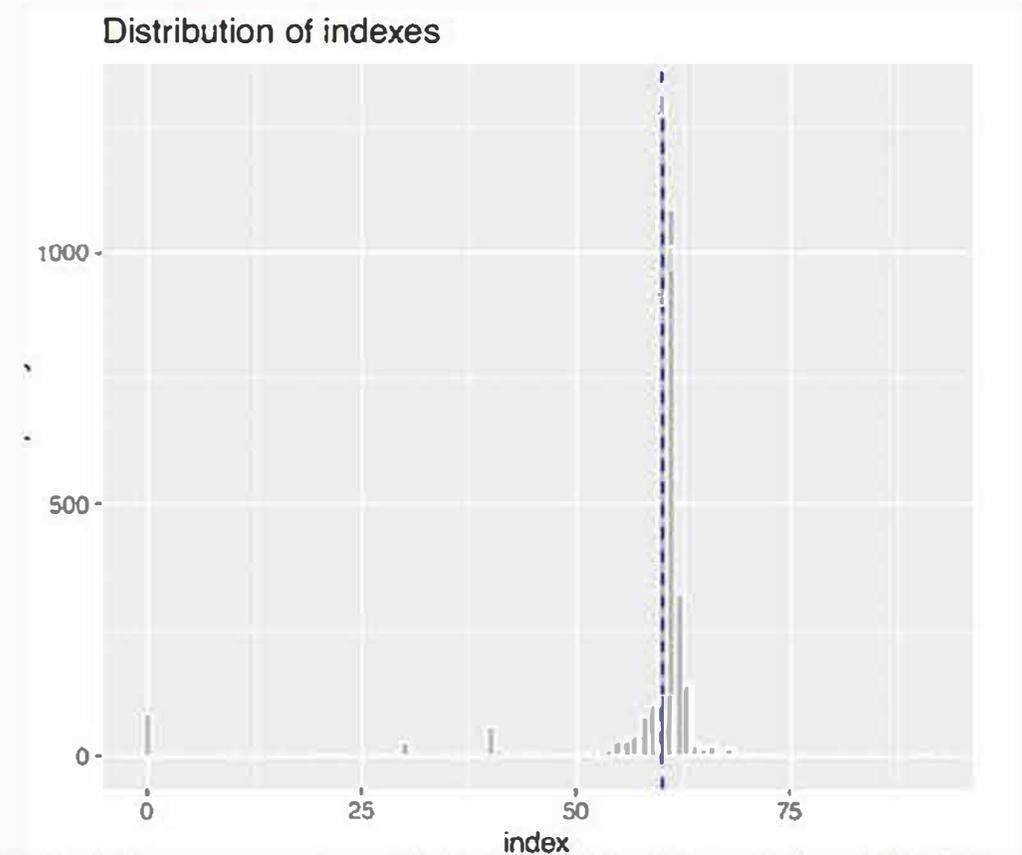
- 保育所の選択に関しては親の所得が高いほど、学歴が高いほど、特に乳児において質の高い保育所を選択している傾向があることが分かっている (Rigby et al., 2007)。
- とはいえ、各年齢ごとの定員、保護者の希望順位、保育の必要性指数によって行政によって利用調整が行われるので、希望する保育所に入れるとは限らない (A市では**第1志望に入れたのは57.43%**)。

施設ごとの入所倍率 (A市)



(注) 青は認可保育所・緑は小規模保育所。

保育の必要性指数の分布 (A市)



(注) 保育の必要性指数は、ひとり親、生活保護、失業、児童の障害、育児休業、市内認可保育所で勤務する保育士等は高くなる。指数の高い方から第5希望までの希望順位ごとに利用調整を行う。